

令和6年度第7回松平地域会議 会議録

日 時 令和6年12月11日（水）午後7時から午後8時15分
場 所 松平交流館 大会議室
出席者 地域会議委員13名、事務局 3名

【内 容】

1 会長あいさつ

2 報告

前回の議事録について

資料に基づいて、第6回地域会議の内容について、事務局が説明した。

3 協議

提言に向けた協議について

11月の地域会議から引き続き、「第2次松平地域まちづくり構想 前期実践計画 15項目」のうち、以下の4項目について協議した。

- ・松平地域自主防災会連絡協議会、各自主防災会、消防署、消防団、民生委員との連携強化、消防署、消防団などの活動周知
- ・子どもと地域をつなぐ環境、多世代交流、居場所づくり
- ・狩猟活動の普及
- ・松平地域のイベント情報の発信

まず、「松平地域のイベント情報の発信」に関して、「提言するのではなく、支所や交流館で検討を始める」という案について協議した。今後は地域会議に情報共有しながら、情報の発信方法等について検討を始める。提言に向けた協議は、残りの3項目について行うことに決定した。

次に、3つのグループに分かれて「子どもと地域をつなぐ環境、多世代交流、居場所づくり」に関して協議し、最後に全体で各グループの協議結果を発表した。

内容は以下のとおり

<1 班>

- ・地区内に学校以外の学ぶ場所がなくて地区外に行くしかない。塾や習い事が近くにあるといい。
- ・高月院、大給城、東照宮などの松平の歴史等を伝えたい。
- ・わくわくフェスタなどで子どもに役割を持たせて、子どもが本当にやりたいことをやれば、子どもがたくさん来て、それとともに親も来てくれる。中・高・大学生のボランティアを頼んで縦のつながりを作ることや、おじいちゃんおばあちゃんがアドバイザーとして参加することで、交流にも、負担軽減にもつながるのでは。
- ・育った子どもたちが松平に住み続けたいと思う地域にする。

<2 班>

- ・地域の子どもたちを大人が見守っている、関心を持っていることが必要。
- ・見守りに関しては、例えば通学時の見守り隊や、放課後児童クラブがあるが、担っているのは高齢者クラブの方が多い。

- ・こどもを見守るということでも責任が大きいため、なかなか引き受けてもらえない。そんな状況で受け手を探すのは非常に労力が必要であるため、地域内の大人だけに頼らず、もっと広い範囲で探さないと難しい。

<3 班>

- ・こどもと地域をつなぐ環境や、こどもと地域の交流とはなにか。こどもと地域をつないでいるものはなにかを考えると、こどもたちと親世代、おじいちゃんおばあちゃん世代が顔を合わせた時に挨拶をしあう関係性がまずは大切。そのうえで、こどもが外で安心して遊ぶことができるように、地域の方の目が常にあるような環境が望ましい。
- ・松平地域は、イベント自体は多いが、こどもも参加可能なイベントはたくさんあっても、こどもたちのためのイベントや、こどもたちが主体のイベントは少ない。

4 連絡事項

- ・令和7年度わくわく事業募集について

次回会議について

- ・日 時：令和7年1月8日（水） 午後7時から
- ・場 所：松平交流館 大会議室
- ・議 題：提言に向けた協議 など